

1月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成31年1月17日（木）

2、閉会年月日 平成31年1月17日（木）

3、出席委員氏名

田中 久善 西畑 敦司 名倉 幸子

西田 伊作

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

事 務 局 次 長 木 村 昌 訓

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

ま な び 推 進 課 長 高 山 仁

ま な び 推 進 課 付 課 長 山 村 結 紀 子

文 化 財 課 長 赤 埴 陽 一

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

市 民 協 働 推 進 課 長 石 原 康 司

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題 第1号 平成31年度一般会計歳入・歳出予
算見積もりについて（案）

第2号 平成31年度天理市教育方針につい
て（案）

日程第3 報告 12月議会報告について

6、会議の経過

開会 午後 3時30分

閉会 午後 5時03分

1 教育長

皆さん、こんにちは。

ただいまから1月の定例教育委員会を開会します。

本日の署名委員は、田中委員と西畑委員をお願いいたします。

それでは日程第1、私からの報告です。

12月8日、9日の教育行政トップリーダーセミナーについてお話しします。兵庫教育大学主催の教育行政トップリーダーセミナーに参加しました。主には「マネジメント」と「リーダーシップ」をテーマに年4日の日程で隔年ごとに開催されています。2年前の平成28年の7月にリーダーシップの第1回に参加しましたので、今年度は第2回に参加しました。「理念浸透」という言葉をテーマに講義・演習が3時間×3回あり、二日目の午後が全体協議でした。講師の先生からテーマの説明があり、それに対して考えて、各班で議論という形式で行われていまして、初対面の人と話すことで、初対面の人がどのように自分を見ているのか、感じているのか、そういう一端を知ることができました。いい学びができたと考えていますので、ぜひ天理市内の小中の管理職の先生にも体験していただきたいということで、今年度末、3月26日に3時間×2回の研修を計画しました。

1月14日は成人式の出席、ありがとうございました。実行委員の皆さんのおかげで、今年の新成人の思い出に残る記念式になったと考えています。

報告は以上になりますが、何かご質問ございますか。よろしいですか。

ないようですので、日程第2の議題に移ります。

議題第1号、平成31年度一般会計歳入・歳出予算見積もり（案）
の説明を各課からお願いします。

1 教育総務課長

それでは、議題第1号、平成31年度一般会計歳入・歳出予算（案）
について説明をいたします。

本日、議題として提案しているものは、当初要求ベース額ですので、
今後財政当局を経て、理事者査定の後、予算額が確定いたします。確
定後の新年度予算の概要については、3月定例教育委員会で、各課か
ら改めて報告をさせていただきます。

なお、本日各課からは、大きな増減及び新規事業のある科目を中心
に説明します。

それでは、教育総務課分について、説明します。

歳入については、川西町教育受託事務費負担金、これは二階堂小学
校で川西町在住の児童がいる場合の事務負担金です。受け入れ児童数
の減少、また二階堂幼稚園の事業起債償還金が完了しまして、現在幼
稚園に川西町から通っておられる園児がいませんので、87万1,0
00円減の1,406万5,000円を歳入として計上します。

続きまして、小学校維持管理事業です。小学校維持管理事業につい
て、今年度、職員が1名退職になりまして、その分については日々雇
用職員で技能員を雇用しますので、技能員賃金1名分の増、設置しま
した普通教室エアコン設置による電気代60日分、施設開放中の緊急
事故に対応するため、各校1台AEDの増設賃借料、先生方が使用する
校務用パソコン38台分の購入費等を要求するため、前年度より1,
314万5,000円増の3億317万1,000円の要求になりま

す。

なお、児童が使うパソコンについては、現在使用しているデスクトップ型のパソコンのリース期間が来年度8月に満了になり、来年度からのプログラミング教育の必修科に対応するため、各校40台iPad型への入れかえを2学期から計画しています。

続きまして、中学校維持管理事業です。中学校維持管理事業は、来年度普通教室エアコン設置による電気代30日分、施設開放中の緊急事態に対応するため各校1台AEDの増設賃借料、先生方が使用する校務用パソコン34台分の購入費等を要求するため、前年度より913万4,000円増の1億6,461万7,000円の予算要求になります。

続きまして、幼稚園維持管理事業です。職員が1名退職しますので、その分を日々雇用職員で雇用しますので、その分の技能員賃金1名分の増。また、幼稚園で使用するパソコン9台、前栽幼稚園は先生の人数が多いので2台購入しまして全部で9台購入します。今年度削減されていた卒園記念品を、新たに復活するため、前年度より423万9,000円増の8,808万3,000円の予算要求になります。

続きまして、建設事業費です。建設事業費については、小学校整備事業として、丹波市小学校プールろ過機更新・屋上防水工事、二階堂小学校給食室改修工事、朝和小学校屋内運動場放送設備改修・屋上防水工事、各小学校の外壁補修・防火シャッター改修工事として、1億5,467万1,000円を計上します。中学校整備事業として、南中学校給食リフト改修・屋上防水工事、西中学校屋上防水工事・外壁補修工事、災害時の避難所対応として、各中学校の屋内運動場のトイ

レを洋式・バリアフリー化改修工事、北中学校、南中学校の校舎基本設計委託料として1億6,449万9,000円、幼稚園建設事業費として、前栽幼稚園外壁補修工事、井戸堂・朝和幼稚園耐震補強設計費として1,905万4,000円を予算要求します。

建設事業費は、来年度は小学校エアコン設置工事等の大規模工事がありましたが、今年度については、そういった大規模な工事は計画ありませんので、1億6,527万6,000円の減になります。

以上です。

1 教育長

では次、まなび推進課、お願いします。

1 まなび推進課長

それでは、まなび推進課から説明します。歳入について、分担金・負担金、使用料・手数料、国庫支出金、県支出金、諸収入がありまして、分担金・負担金は、マイナスが出ていますが、この中の社会教育費、また後ほど地域学習係からも説明がありますが、パートナーシップ事業が重なっている部分となっています。

使用料・手数料は、幼稚園保育料等の関係で減となっています。

県支出金は、子どものための教育・保育給付費が増となっています。

また、部活動指導員配置促進事業を今年度初めて申請しましたので、これが県支出金の増となっています。

支出です。教育総務事業も30年度に比べて減となっていますが、こちらについては大きく減らしているのではなく、地域学習係との関係で金額的に減になっていまして、それ以外は30年度同様の予算要求となっています。

学校給食費運営事業については、わずかに減となっています。

地方創生については、昨年度よりも3万2,000円、これは予算がつかないということで減になっています。

姉妹都市友好事業についても社会教育事業との関係で、中学生派遣事業の額が大幅に増えています。

人権教育推進事業についても市人教への助成金、マイナス5%の減額となっています。

小学校運営事業について、昨年度よりも約280万円減になっています。これについては、30年度は道德の教科書・指導書が変わった次の年ということで、指導書の費用が大きく増えていましたが、31年度は必要なくなったということでマイナスになっています。

小学校教育振興事業が増になっているのは、準要保護児童の入学一時金の増額を要求しているためです。これについては、生活保護等の関係からも増額していきたいということで計上しています。

中学校の運営事業については、約100万円増になっていますが、これも道德の教科が31年度から「特別な教科 道德」ということで教科化されることを受けて、道德の指導書・教科書等の費用として計上しているものです。

中学校教育振興事業についても約300万円増になっています。小学校と同様、準要保護生徒の入学一時金を増額としました。

続きまして幼稚園運営事業については、約35万円増になっていますが、全体的には前年度と変わりありません。

幼稚園の教育振興事業については、約1,100万円増になっていますが、これは子どものための教育・保育給付費負担金という子育て

振興の関係で、私立の幼稚園に対する施設型給付費が新規事業でありまして、それに対する負担金等です。その分が増になっています。

1 まなび推進課付課長

続きます、地域学習係から説明します。姉妹都市友好事業について、30年度は派遣も受け入れもありませんでしたが、31年度は派遣の年になっていますので、176万6,000円の増で計上しています。

173万円減になっていますが、放課後わくわく広場、サタデースクールの事業をパートナーシップ事業に予算科目を変更しましたことと、山の辺号の運転管理業務委託料の減額等により減額になっています。

パートナーシップ事業についてですが、31年度から新しく予算科目を追加しました。その中で、30年度は教育総務事業で計上していました587万1,000円ですが、パートナーシップ事業の補助金について、社会教育事業のわくわく広場とサタデースクールの部分を市費分だけではなく、補助金で補われる分を補助対象にしたことによって増額という結果になっています。

教育キャンプ場維持管理事業についてですが、枯木伐採等の業務委託料が増えることによって増額となっています。最終的にまなび推進課の費用としては、1,386万9,000円増の2億3,605万6,000円の要求となっています。

1 教育長

文化財課、お願いします。

1 文化財課長

文化財課から説明をします。歳入から説明します。大きな変化としましては、国庫支出金、また県支出金におきまして、昨年度の西乗鞍古墳整備事業に伴う補助金について新年度との差額がマイナス2,812万9,000円となります。30年度に当事業が終了しましたのでこのように大きな差額がございます。

歳出ですが、まず新規事業で文化財保護事業ですが、こちらは平成30年度の西乗鞍古墳整備事業による西乗鞍古墳の公有化により、31年度以降、管理業務が発生することに伴う163万8,000円の増が影響しています。

地方創生推進交付事業ですが、昨年度と比べましてマイナス295万7,000円となっています。こちらについては、先ほどの西乗鞍古墳整備事業に伴う伐採や草刈の支出分の300万円減がマイナス295万7,000円に影響しています。

そして以下新規事業について説明します。まず埋蔵文化財センター整備事業です。615万6,000円となっておりますが、こちらは埋蔵文化財センターにおいて、西棟と東棟でそれぞれ雨漏りがありますので、そちらの改修工事費用として計上しています。そして黒塚古墳及び展示館整備事業です。こちらは内容として2つありまして、一つは黒塚古墳展示館の雨樋の修繕として79万円を計上しています。もう一つは展示館の解説等の色褪せている部分、また今年度樫原考古学研究所の最終報告に伴う内容の更新、そしてインバウンドによる訪日外国人の多言語への対応のための事業として231万2,000円を計上しています。

続きまして、指定文化財保存事業です。93万円の増となっていま

す。こちらも新規事業で、国指定の重要文化財の耐震診断補助金90万を挙げています。内容としては長岳寺修理、石上神宮修理に伴う一連の耐震診断に対し、天理市が執行しまして長岳寺60万、石上神宮30万という補助金を挙げています。そして、県指定の文化財は小修理補助金です。これは天理市の二階堂森嶋家住宅の災害対応を伴う小修理費3万円を挙げています。

続きまして、保存活用計画策定事業、新規で321万7,000円です。内容は、史跡杣之内古墳群保存活用計画策定業務委託で、このたび西乗鞍古墳が市の所有となり、西山古墳と西乗鞍古墳は両史跡として杣之内古墳群として認定されましたので、計画的に事業を進めるため、保存活用計画を策定する委託費です。そして西乗鞍古墳整備事業は、30年度におきまして3,513万2,000円、そして31年度はございませんので、全体としてマイナス2,317万5,000円となっております。

文化財課は以上です。

1 教育長

教育総合センター、お願いします。

1 教育総合センター所長

教育総合センターから説明します。教育総合センターは、歳入はありません。歳出ですが、教育総合センター運営事業費としまして、不登校対策事業、特別支援教育関連事業、子ども・若者支援事業等日々雇用の職員の賃金の見直しということで16万4,000円の減額になっています。

それから教育総合センター維持管理事業については、消費税の分、そして2年ごとの建築物の点検等の委託料等に当たって6万1,000円増で、総額10万3,000円の減額となっており、多くは賃金の見直しというところでの予算要求をしています。昨年度現状維持ということで、予算要求します。

1 教育長

次は、図書館お願いします。

1 事務局次長

図書館運営の歳入、歳出を説明します。

歳入からですが、今年度と同じ4万2,000円を歳入で計上しています。こちらは、図書館の利用者が利用するコピーのサービス使用料です。4万2,000円となっています。

続いて歳出ですが、図書館運営事業について、総額2,182万4,000円、前年度分と比べますと23万2,000円の減額です。主には、図書、新聞、雑誌等資料費で1,043万1,000円を計上していますが、財政事情の関係で、図書館費では、この図書の購入代金を昨年度と比べて減額となっています。また、大きくは印刷製本費がありまして、子ども読書推進という形で例年どおり、小学校に配布しているパンフレット、読書手帳、「おめでとうシール」を作成し、子どもたちの読書に対する取組を進めています。

そして、講師謝礼・委託料については、子どもに対するおはなし会の開催の委託料、絵本読み聞かせの講座、ストーリーテラーの育成の講座等の委託料ということで計上しています。

1 教育長

ありがとうございました。

次、市民協働推進課からお願いします。

1 市民協働推進課長

市民協働推進課です。歳入から説明します。31年度要求額総額27万4,000円を計上しています。ほぼ前年度と同額ということですが、使用料として公民館の使用料、それと公民館の敷地内にあります電柱の占用料ということです。ほぼ同額の計上を見込んでいます。

続きまして歳出です。公民館運営事業として、31年度は1,804万8,000円を要求しています。増減額については2万6,000円の増となっています。主だったものとしては、受講の部分で各種教室講師謝礼というところで予算削減のためとなっていますが、昨年度に比べて約100万円の減となっています。こちらは、高齢者学級、女性学級、子ども夢づくり講座、地域づくり講座という公民館の実施事業について、これまでの実績を鑑み、約100万円の減としています。また、備品購入ですが、こちらについては、櫛本公民館の防音カーテンや壊れている備品について、約100万円の増ということで計上しています。

続きまして、公民館維持管理事業です。2,601万5,000円を要求しています。昨年度に比べて88万1,000円の増です。主だったところとしては、管理業務委託として、約100万円の増となっています。こちらは公民館職員の減員ということに伴い、その分手薄になったところをシルバー人材センター等に委託するというので、100万円の増となっています。

以上で、公民館運営事業と公民館維持管理事業あわせて、4,40

6万3,000円の予算要求となっています。

歳出の公民館施設整備事業として、31年度は1,184万3,000円を要求しています。総額的には去年とほぼ同額、12万円の減となっていますが、ほぼ同額です。内容としては、朝和公民館の男子の便所の洋式化、それから前栽公民館の昇降機の制御盤の取りかえということで予算要求しています。

以上です。

1 教育長

ありがとうございました。

それでは質問に移ります。課ごとでお願いします。まず教育総務課で何か質問ございますか。

西畑委員。

1 西畑委員

校務支援システム等でパソコンの導入とありますが、1台当たりの金額はどのように決まっていますか。また特に小中は校務支援システムが入るからかもしれないですが、金額が高いように思います。

1 教育総務課長

校務支援システムについては、県でクラウド型の総合型支援システムを総務省の補助を受けて構築されているものがあります。そのために先生方お一人一人にまず、パソコンを持っていただかなければならないということで、毎年臨時的に購入していますが、今、西畑委員もおっしゃいました、パソコンの購入単価については、約1台当たり8万円程度、共同調達もできますが、共同調達にしますと、どうしてもハイスペックなものを要求されますので、スペックを少し考えまして、

1 台当たり 8 万円程度の見積もりで現在予算要求しています。

1 西畑委員

ノートパソコンですか。

1 教育総務課長

はい。

1 教育総務課長

入札するので、金額は下がると思います。

1 西畑委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

名倉委員。

1 名倉委員

AEDを各校1台増ということで、これは前からリースですか。

1 教育総務課長

市民の方が櫛本小学校施設開放で剣道中に心臓発作を起こされて、二階堂小学校でも同様に、卓球中に心臓発作を起こされまして、1台では、施設開放の面から、心もとないということで、もう一台リースで契約します。

1 名倉委員

ではもともとの1台は買い取りですか。

1 教育総務課長

いいえ、リースです。

1 名倉委員

1年間どれぐらい費用がかかりますか。

1 教育総務課長

リース、買い取りとありますが比較した場合、リース形式のほうが安価ということで、約6,000円を12カ月分で、70万円程度の予算を小学校でしたら計上しています。

1 名倉委員

施設開放ですので、体育館のどこかに設置するのですか。

1 教育総務課長

調べましたところ、二階堂小学校だけが体育館にあります。そのほかの学校は、保健室の前等に設置してしまして、櫛本小学校ではガラスを割って入られたということがありましたし、やはり施設開放という体育館で行われますので、基本的にはもう一台は体育館に置いていただこうと考えています。

1 名倉委員

そうですね。体育館ですね。急を要するときにはすぐに取り出せる場所でないといけませんので。はい、わかりました。

北中学校と南中学校の校舎建設事業ですが、入札はもう終わっていますか。

1 教育総務課長

南中学校は10月に終わりました、北中学校は1月、今月中に行います。

1 名倉委員

おそらく、現在の生徒数を基準としての設計であると思いますが、今後の見通しとしては人数が減少していくと考えられますので、使い方や教室数も変わってくるかと思いますが、そのあたりはどのように

お考えですか。

1 教育総務課長

教室数については、名倉委員がおっしゃいましたように、今後の見通しを踏まえた上で、必要な分だけをつくらせていただこうと考えています。

1 名倉委員

では、この10月に決まった南中学校の入札の金額は妥当なところだということですね。

1 教育総務課長

教育総務課では営繕課に設計を依頼し、建設単価等の一定の基準に基づいた積算となりますので、妥当なものと考えています。

1 名倉委員

わかりました。地域的なことで発掘調査というのは、北中だけが必要なのですか。

1 教育総務課長

そうです。北中が文化財課と協議したところ、該当します。その部分は公共工事になる以上は発掘調査が入るということで委託料を計上しています。

1 名倉委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

教育総務課について質問はほかにございませんか。

なければ、まなび推進課で、何か質問あればお願いします。

西畑委員。

1 西畑委員

まずは、機構改革や事業の管轄の変更等があった場合は、予算の比較がしにくいので、どの事業がどのくらいの金額でどこへ移ったのかが分かる資料を作成していただけたらと思います。

要保護・準要保護生徒援助費補助金について、小学校では約270万円増となっています。それに比べて要保護児童、生徒援助費補助金というのは、国庫支出金の割合が非常に少ない。にもかかわらず、増額となっているということは、力を入れてこれから進めていくという理解でよろしいですか。

1 まなび推進課長

はい。そうです。

1 西畑委員

わかりました。また、他に活用できそうな制度も調査していただけたらと思います。

1 まなび推進課長

わかりました。

1 教育長

入学準備金だけではなく、ほかも含まれているのですか。

1 まなび推進課長

いえ、入学準備金だけです。

1 教育長

他に質問はありますか。

名倉委員。

1 名倉委員

歳入の保育料で658万3,000円減というのは、8園とやまだこども園全部のトータルでおよその31年度の園児数で、保育料を算出してマイナスの金額が出ているということですか。

1 まなび推進課長

はい。そうです。

10月から無償化になりますので、これはとりあえず今までどおり、12カ月分で算出していますが、2分の1で、また計算し直す必要が出てくるかと思います。今のところ正式には文科省から通知はありません。

1 名倉委員

では、補正予算で挙げていくということですか。

1 まなび推進課長

いえ、10月からの不足分については、国が全面的に補助をするということも聞いていますが、詳細が明確になっていないので今のところははっきりとは申し上げられません。

1 名倉委員

わかりました。

1 田中委員

一つ質問します。私学の施設型保育園というのはどこですか。

1 まなび推進課長

天理市内ではカレスと天理幼稚園がありますが、天理幼稚園はそのまま、施設型で新制度を取っているのがカレス幼稚園です。

あと大三輪幼稚園も新制度になりましたので、そちらに通われる天理市内のお子さんもいますので、そちらの分もわずかですが計上して

います。

1 田中委員

わかりました。

1 教育長

まなび推進課についてはこれでよろしいですか。

では次、まなび推進課地域学習係で質問ございますか。

ないようですので、次に文化財課について、質問ございますか。

1 西畑委員

質問ではありませんが、文化財課の資料の摘要のところは大変わかりやすかったです。このように詳しく書いていただくと、事前に理解しておけるので助かります。ありがとうございます。

1 教育長

次、教育総合センター、質問はございますか。よろしいですか。

ないようですので、次に図書館、質問はございますか。

西畑委員。

1 西畑委員

歳入で雑誌のスポンサーの制度の分は会計上入ってこないのですか。

1 事務局次長

実際の雑誌代のほうについては直接お支払いしていただいていると
いうことですので、会計上、出てきません。

1 西畑委員

はい、わかりました。

1 西畑委員

それからあと二つあるのですが、システム利用料、保守点検委託料、

借上料というのは、去年の予算のときには内訳を出していただいたのですが、今回内訳はどうなっていますか。クラウドに変えられて運用されているということで、内訳が変わってくるかもしれないと思ったのですがいかがですか。

1 事務局次長

おっしゃるように平成29年10月から今のクラウドを使用しています、総額でそのシステムの利用料だけで言いますと171万1,000円なのですが、昨年度に比べるとその分は微増になっています。主なものは、消費税の2%上るということです。その分で微増になっていますが、金額的には長期継続契約という形で、昨年度、5年間の利用契約を結んでいますので、基本5年間は単価は変わらないという契約になっています。

1 西畑委員

消費税の分で増となっているだけですね。

はい。わかりました。

最後ですが、図書、新聞、雑誌等資料費というのが減額になるということですが、これは実際にはどういったところが減額になっていますか。

1 事務局次長

図書購入費の中には、当然一般図書、児童図書、移動の図書館用の車用と分けて、見積もりを算出していますが、基本的に一般図書で言いますと、1冊当たり約2,000円と消費税、これを単価として、児童図書で言いますと、1冊当たり1,700円を基本と、移動図書も同じですが、その金額をもとにして、予算の要求をしています。同

じ本であっても、初版はどうしてもハードのタイプで高額ですので、1冊当たり、2,000円前後となりますが、少し発刊がおくれてきますと、文庫本が発行されたりしますので、単価は大分変わってくるかと思います。そういったことを活用してやっていきたいと思っています。ただ、予算上で見ると、今まで1,300冊を買っていたものを、1,000冊強ぐらいまでと、約60万円下がっていますので、うまくやりくりしながら購入に努めていきたいと思っています。

1 西畑委員

予算削減はどうしても避けられませんが、大和まほろば広域定住自立圏の相互利用ということで、田原本町の図書館のように協力をして、お互いに特色のある図書館づくりをされていると、お互いの弱いところをカバーしやすいのかなと思いますので、その辺をうまく活用していただいて、十分な満足感がある蔵書づくりを進めていただけたらと思います。よろしくお願いします。

1 教育長

ありがとうございます。図書館、ほかにございますか。

なければ最後に市民協働推進課、質問はございますか。

西畑委員。

1 西畑委員

公民館関係の費用で、昨年計上されていた分で生涯学習推進員報償金というものが、これは公民館運営事業とか公民館維持管理費以外のところにあつたのですが、それがまなび推進課の地域学習係の中にも見当たらず、それは公民館のことですので、市民協働推進課になるのかなと思ったのですが、この前年98万2,000円とい

う数字のところ、この部分はどうなりますか。

1 市民協働推進課長

生涯学習推進員報償費ですが、31年度の公民館運営事業の各種教室講師謝礼の中に含まれていまして、これが98万1,500円ですので、98万2,000円同額の予算要求をしています。

1 西畑委員

ということは、単体で見ると前年と比べると、10万円ぐらい下がっているのですが、全体的にはこの項目で100万円ぐらいの削減をされたということですか。

1 市民協働推進課長

そうですね。各種教室講師謝礼というところで、約100万円の減額で要求をしています。

1 西畑委員

とすると、実際に増減額で見ると、2万6,000円の増となりますが、足したり引いたりしてみると、備品購入費が100万円ほど上がっているということですね。

1 市民協働推進課長

はい。

1 西畑委員

この物品購入費約100万円上がっているのは何を整理するために上がっていますか。

1 市民協働推進課長

増額した分というよりも、この181万2,000円の内訳ということでご説明しますと、櫟本公民館の防音カーテンがあります。それ

から、前栽公民館の給湯器を新しいものに交換したいというところと、柳本、丹波市公民館の料理室のエアコンを要求しているのが、181万2,000円の内訳です。

1 西畑委員

はい。わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

よろしいですか。ほかの委員。

名倉委員。

1 名倉委員

櫛本公民館の防音カーテンというのは、これは要求があったからつけたわけですか。

1 市民協働推進課長

櫛本公民館では、民謡教室やカラオケ教室といった音楽に関する利用が多く、また新しい公民館ですので、たくさんの方々にご利用いただいているということで、それ自体大変ありがたいことではあるのですが、やはりご近所から苦情もいただいているということもあります。最初から防音設備が備わっていればよかったですのですが、ここまで多くの方にご利用いただけることは想定外でもありました。また、防音設備をこれから作っていくとなると多額の費用を要しますので、取り急ぎ防音カーテンで対策をとるということです。

1 名倉委員

では、他の公民館では防音カーテンの使用というのは、今までなかったのですね。

1 市民協働推進課長

他の公民館の周りには住宅が少ないということなのですが、櫟本の新しい公民館は、すぐそばに住宅が近接しておりますので、少しご迷惑をかけているというところです。

1 名倉委員

はい。わかりました。

1 教育長

よろしいですか、ほかに質問。ないですか。

質問はこれ以上ないようですので、議題第1号の平成31年度一般会計歳入・歳出予算見積もり（案）を承認することといたします。

議題第2号、平成31年度天理市教育方針について（案）の説明をまなび推進課からよろしくお願いします。

1 まなび推進課長

平成31年度天理市教育方針（案）を提案します。表紙はそのままです。天理市民憲章もそのままです。平成31年度天理市教育方針、これもそのままです。学校教育の目標ということで、赤字にて訂正しました。「心身ともにたくましく」を削り、次に「知・徳・体の調和のとれた」につなげていき、「心豊かな」を「豊かな」、赤字の「人間性と創造性をそなえた」という形で文章にしました。これは県の31年度の教育方針にも記載がありまして、それを入れています。

また、よりわかりやすいようにと「確かな学力」「豊かな人間性」を括弧書にしました。

続いて、活力ある園・学校づくりは昨年度同様です。

確かな学力の育成というところで、赤字のところは追記しました。基礎的・基本的な知識及びというところで、「基本的な」を削り、そ

の後、「これらを活用した思考力、判断力、表現力を育むとともに、主体的に学ぶ態度を養う」を追記しました。

続いて、「主体的・対話的で深い学びの実現を図るために」を「ICT活用や」というところに入れました。

続いて、豊かな人間性の育成というところで、ここでは「公正さを重んじる心、自律心」を道徳心のところに追記しました。

たくましい心身の育成というのは、そのままです。

続いて、社会教育の目標のところについては、今年度と同様のままです。

続きまして、リーフレットをご覧ください。リーフレットの赤字になっているところを変更しました。まず、本市の学校目標のところ、「豊かな人間性と創造性をそなえた」を追加しました。知・徳・体の調和の取れた豊かな人間性と創造性をそなえた幼児児童生徒の育成を目指す。特に「確かな学力」等のところを、括弧書にしています。

続いて、活力ある園・学校づくり～幼稚園・こども園、小学校、中学校のより一層の連携を目指して～というところですが、特に変更はありません。

続いて、確かな学力の育成、豊かな人間性の育成、たくましい心身の育成で、知・徳・体のこの3つに分けているところは、これまでどおりですが、内容としては確かな学力の育成のところは、「学習習慣の確立と基礎的な知識及び技能の確実な定着を図り、これらを活用した思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学ぶ態度を養う。

「主体的・対話的で深い学び」の実現をはかるために、ICT活用やグループ学習など指導学習や学習形態を工夫し、児童生徒がみずから

学び考える時間を培う事業づくりを進める。また、若手教員をはじめ、教職員の指導力の向上を目指す」としました。

続いて、豊かな人間性の育成のところでは、「正義感や公正さを重んじる心、自立心や責任感を育む」のところを変更しました。たくましい心身の育成のところは今年度と変更ありません。

続きまして、幼稚園・こども園、小学校、中学校という形で保幼小中の接続のところは、例年どおりです。確かな学力の幼小中のところは、大部分を赤字で変更しています。これについては、新指導要領を意識してのものと考えていますが、県もかなり大幅に変更がありましたので、市の方も大幅に変更していますので、以下読み上げます。

「小学校以降の生活や学習の基盤につながる「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を育む。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明確にし、幼児期の発達の特性に応じた援助の工夫を図る。

小学校、幼稚園等や中学校での学びを踏まえ、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。基礎的・基本的な知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。児童の発達に応じ、言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら学習習慣を確立させる。

中学校、小学校や高等学校での学びを踏まえ、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に取得させる。基礎的・基本的な知識・技能を活用し、課題を解決するた

めに必要な思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。生徒の発達に応じ、言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら学習習慣を確立させる」というところです。

豊かな人間性の育成のところについては、本年度と変更ありません。

続いて、たくましい心身の育成のところでは、これについては、幼稚園のところは今年度から変更ありません。小学校、中学校変更箇所については、赤字で書いているとおりです。

続いて、「これからの時代に求められる園・学校づくりのために」というところで、まず、主体的・対話的で深い学びと今日的なテーマのところを昨年度に比べて変更しています。昨年度は、主体的・対話的に深い学びということだけでしたが、そこに主体的・対話的な学び、「深い学び」の実現、情報通信技術（ICT）の活用ということで、具体化しました。主体的・対話的な学びについては、「子どもたちが学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成と関連づけて見通しをもって取り組んだり、自己の学習活動を振り返ったりするとともに、子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話等を通じ、自己の考えを広げ深められるようにする。」としました。

「深い学び」の実現のところでは、「子どもたちの学びの視点に立ち、習得・活用・探求という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら」ということを追加しました。

続いて、情報通信技術（ICT）の活用というところで、「情報活用能力の育成を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するために、コンピューターや情報通信ネットワークを活用した学習活動

の充実を目指した授業改善を行う。」としました。

次の具体的なカリキュラムの作成、昨年度はカリキュラム・マネジメントの充実ということで挙げていますが、本年度は具体的なカリキュラムの作成ということで、「学校（園）教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント、学校（園）教育目標を全職員で共通理解し、その実現に向けて、子どもたちの学びの状況を適切に把握した上で、教科等横断的な視点から、各学年等の教育内容を系統的・発展的に組み立てる。」としました。

学校段階等間の接続のところは、「保育園・幼稚園・こども園、小学校、中学校の連携を推進し、各校種等での学びを踏まえ、教育の円滑な移動・接続を図るための教育内容を組み立てる。」ということにしました。

続いて、昨年度は幼児児童生徒の発達支援、あと家庭や地域との連携ということでしたが、本年度は発達支援、家庭や地域との連携ということにしました。発達を支える指導の充実の内容的には変更ありません。家庭や地域の連携も内容は変更ありません。

裏面のところで、クローズアップ「天理市教育大綱」ということで、これは教育大綱を意識して書いているものですので、内容的には変更ありません。

以上です。

1 教育長

ありがとうございました。

変更箇所は赤字で書いているのですが、まとめたものがリーフレットになっていますので、リーフレットで何か質問はありますか。

1 西畑委員

現行の30年のものと比較しましたが、大部分が変更があったものと思いますが、30年の確かな学力の育成の中学校のところ、一番下のところに、情報を収集し、適切に選択・活用するものに育てるという項目があります。それは29年も30年もあったと思うのですが。31年については削除したのですか。

1 まなび推進課長

そうですね。

1 西畑委員

中学校のこの項目の中で同じような認識を持って取り組むとすると、31年度ではどの項目が当てはまりますか。

1 まなび推進課長

情報通信技術の活用のところです。

1 西畑委員

情報を収集し、適切に選択・活用するものに育てるということは、大事だと思います。今、フェイクニュースというものが世の中でたくさん起こっているので、そういう誤情報に惑わされないということ意識しながら、インターネットには触れていってもらいたいと思いますので、言葉としては消えていますけれども、考え方は残しておいていただけたらと思います。

1 教育長

情報の真か偽かの思考力、判断力については、それに伴う教養も身につけるようにということで、育んでいけるようにします。

1 西畑委員

よろしく申し上げます。

1 教育長

田中委員。

1 田中委員

これは県の指導方針に則って書いているのですね。

1 まなび推進課長

はい。

1 田中委員

今話のあった情報の判断力等について、県はどう捉えているのかということ把握しておく必要があると思います。当然、県で言うような自己判断力、こういったところに意図すると思いますが、幼稚園・こども園のところに思考力・判断力・表現力等と書いてあるので、小学校も中学校も「等」は必要ではないかと思います。思考力、判断力、表現力以外にもそういった力という意味で。この点について、どのようにお考えですか。

1 教育長

そこは、基礎というのが幼稚園でもつくので小学校、中学校はもう思考力、判断力、表現力ということで、指導要領や学校教育法を書いているので、それはそのまま3つでいかせていただこうと思います。

1 田中委員

わかりました。

1 教育長

名倉委員。

1 名倉委員

まず、確かな学力の育成のところ、学ぶ態度を養うということと、たくましい心身の育成の小学校のところ、取り組む態度を育てるというところ、「養う」と「育てる」の意味、文言一つ一つ慎重に文言を決められていると思うのですが、これも県を参考にしているのですか。同じ意味と捉えてよろしいでしょうか。

1 まなび推進課長

30年度は、確かな学力のところ、学ぶ意欲を育成するになっていきますので、育てるとほとんどイコールになっています。

1 名倉委員

それからもう一つですが、成長段階で幼・こども園、小、中の3つに分かれていて、この右の「これからの時代に求められる園・学校づくりのために」のところは、園・学校づくりの全体的な目標で、お互いに共通する部分をまとめた全体像ですか。

1 まなび推進課長

そういうことです。

1 名倉委員

はい。わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

ほか、質問はございますか。

では、先ほどの「育てる」と「養う」については、再度意味を確認して統一するようにしたいと思います。そして訂正したうえで配付をしていきたいと思いますので、それでご了承よろしく申し上げます。

続きまして、日程第3、報告に移ります。

12月議会報告は事前に教育委員様に郵送していますので、読み上

げは省略して、教育委員様からの質問を受けたいと思います。何か質問はございますか。

西畑委員。

1 西畑委員

S o c i e t y 5 . 0 の時代に備えて、教育委員会では I C T 教育等の準備をしていると思うが、小中学校 P C の設置状況を教えてほしいということで、まなび推進課長、全中学校にはタブレット型 P C 4 0 台、小学校にはデスクトップ型 P C が 2 0 台、タブレット型 P C が 1 0 台と回答されています。今年度パソコンの入れかえや i P a d 導入のお話もありましたが、これはハード面としてはそうなのですが、教える内容の充実ということも必要だと思います。実際、予算計上されている分と言いますと、昨年度予算でそれにかかわるような費用というのはどこになっているかというところ、この予算のところの 9 ページご覧ください。9 ページの教育総務事業の一番下、I C T を活用した英語教育推進事業補助金ということで、7 0 万円計上されている。この補助金は、3 0 年度はどのように使われていますか。

1 まなび推進課長

これについては、福住小学校の小規模特認校に大部分を特化しています。I C T については講師を招いて研修会を開いたということです。また、新しいソフトの導入となりますと、教育総務課とも連携を取りながら進めていかなければなりませんので、今、新しいパソコン導入に当たって、まなび推進課の I C T 担当の指導主事がどのようなソフトが必要かということで、各現場と連携を取りながら、それをまた教育総務課にお願いしながら新しいソフトを導入していくという方法で

進めているところです。ですから、この70万というのは、全てではありませんが、大部分は小規模校に充てています。

1 西畑委員

プログラミング教育については、進捗具合を教えていただければありがたいと思います。

1 教育長

今年度末に山の辺小学校で大学の先生からプログラミング学習を4時間してもらいますので、それを市内の先生に見てもらって、また後で研修してもらおうということで、また来年度お願いしようと思っています。

1 まなび推進課長

その後に校長か教頭が必ずどちらかが出て、管理職向けに講演を聞かせる。次年度の方のプログラミング学習についてということで、実際そういったことをしています。

1 西畑委員

楽しみにしています。

1 教育長

また、PCの更新に向けて、先生方も意識を持つようにということで、PCが入ればすぐにでも利用できるようにということで考えていただいています。

ほか、何か質問はございますか。

1 田中委員

ランドセルの件ですが、子どもの登下校の際に重たいということで、全国的にもいろいろと話を聞いていますが、かつて天理にはノーラン

ドセルという時代がありました。その時代は課題も問題になった気がする
るので、一度調べていただいてそういった問題が解決できるように
指示されたらいかがかなという私の感想です。よろしくお願いします。

1 教育長

名倉委員。

1 名倉委員

全国学力学習調査の回答についてですが、ただ得点を上げることだ
けを考えるのではなく、分析をしっかりしたり、書くことの課題など
を取り上げたり、そしてほめ日記ですね、自己肯定感を上げるといっ
たことに力を入れた方がいいと思います。ですので、天理市としての
主張をしっかりと先生方に浸透させて、今何をやるべき、何が本当の
勉強、学習なのかということをしかりと生徒、子どもたちに教えて
いっていただきたいなと思いました。

1 まなび推進課長

はい。

1 名倉委員

ありがとうございます。

1 教育長

ほか何か質問はございますか。よろしいですか。

ないようですので、これをもちまして、本日の定例教育委員会を閉
会いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後 5時03分